

原発事故から10年 原発ゼロへの本当の闘いはここから



東日本大震災・原発事故から10年が経過しました。今年は節目の年と言われ、3月11日までは報道でも取り上げられました。しかし、福島に住み続ける者にとつて、被害は続いており、節目は通過点でしかありません。むしろここからが本当の闘いです。自らの被害状況を語っていただき、被害の完全救済と原発ゼロに向けた世論を広げていきます。

10年が過ぎ80才になった

東北農民連 八巻 洋一さん

あの時から10年がたち、数え年で80才になってしまった。原発がバクハツしてすぐに七十七銀行の上にあった東電に抗議に行ったことを思い出す。

2011年4月26日、大型バスで東電本社へ。テレビでトップニュースで報道になった。たたいがが始まった。でも朝ボヤリと明るくなったころ、頭が痛い、39度の熱、私は行動に行けなかった。

2013年、家のすぐ後ろの3反歩の田んぼ、仮置き場に貸した。今年3

福島のお米や野菜は安全で美味しいと 知ってほしい

浜通り農民連 渡邊 昌美さん

2011年3月11日14時46分、震災の時私は勤務先の名取の会社にいました。作業中地鳴りと共に下から突き上げるような強い揺れで立っていることもできず、床に這いつくばりながら机の下に隠れ、一斉になる携帯のアラームが不安と恐怖を感じさせました。揺れが収まると、会社の外に集められ雪もちらつく中余震は続きました。夫や実家の家族に電話をかけても繋がらず、更に不安な気持ちになりました。

小高の実家が心配になり、夫と二人で向かう中、母からの電話で「津波が来て相馬の実家が心配だから見てきて」と言われ相馬に向かいました。6号線は津波と地震で通れなく、迂回しやつと祖父の家へ。付近ではマンホールから水が吹き出し家の周りの田んぼは海のような光景で、もしかし

震災から10年が経ち 想うこと

安達地方農民連 泉 敏江さん

私は福島第一原子力発電所が立地している大熊町出身です。震災直後、姉家族の住む本宮市に避難し、移住してから10年が経過しました。大熊の自宅はまだそのまま建っていますが、何度も動物に入られ、雨漏りで天井は剥がれ落ちそつで、中はぐちゃぐちゃでした。震災

月、役場が来た「3月いっぱいでも返しませう」「ありがとつ」でもなく「大変だったでしょう」でもなく、たった一言「ここにハンコを下さい」...

そして、測った線量0.13μシーベルト(仮置き場の時は0.07μシーベルト)。山土を剥いだ田んぼにセシウム137が生きていた。

この10年、たった100戸の町内で6人もの仲間が亡くなった。3月11日に黙祷をするだけではすませられない。亡くなった方々の思いをしっかりと引き継いで「原発ゼロ」と叫ぶのだ。

デブリの取り出しが本当にできるの...どこで処分するの...10年がす

て流されたんじゃないかと思いましたが、そこに消防団の方がきて「バイパスから海の方へは行けない」と言われ諦めて実家に向かいました。実家に着くとテレビからは津波の映像が流れていました。全く現実味がありませんでした。姉が祖父を避難所で探し見つけ小高に連れてきてくれ安心しました。翌日に原発事故の噂を聞き、何が本当なのか分からない状態でした。

3月15日、原発事故の為相馬の祖母の家に避難しました。家の前の田んぼには家の屋根などがそのままの状態であつたり、瓦礫でいっぱいであつた田んぼだった形跡は全くありませんでした。そんな光景を見て田んぼはもうできないのかなと思えました。瓦礫の撤去作業が終わってもすぐに田んぼを作ることではできませんでした。祖父は農業一筋だったのでとても悲しかったと思います。

震災から3年目に田んぼを再開することができましたが、祖父は脳梗塞と胃がんを患い闘病生活になってしまいました。これを機に家族で相談し小

から1年目くらいはネズミの大量発生でめっちゃめっちゃ。次はハクビシンや猪、そしてまた猪。2度目までは大熊町に一時帰宅の都度、掃除をしていましたが、何度も入れられ疲れはててしまいました。そして、時間が経つにつれ帰宅の足も遠のいてしまいました。姉が見てきたのですが、先日の地震で下駄箱が倒れてテレビ台の中の物が飛び出していたそうです。家の解体は父も承諾をしています。解体を決めたときは寂しさが湧いてきました。高齢の父は少し前に「大熊に帰る」と言い出しましたが「もう帰れないんだ



きて、20年がすぎて、そのうちみんな忘れて...。国も東電もそこを目指しているのでは。

最近の福島民報に「まだ逃げぬ、廃炉を見届けるまでは」「強かに生きて廃炉を見届ける」。そんな川柳がのつていた。静かに強く生きようと思う80才の私。

廃炉を見届けるには、史上初の死なないでしまった人間になるしかないのか...

高の家に帰らず相馬に移住することになりました。

祖父が亡くなり、父と母が後を引き継ぐことになりました。手伝いをしたことはありましたが農業のノウハウが分からないので、農民連の方や近所の先輩達に聞きながら少しずつ分かっていきました。私も一緒に携わるようになり農業の難しさや収穫の楽しさを感じるようになりました。

しかし、収穫出来ても風評被害で福島のお米は買わない、食べないと言われることが悲しかった。福島では全袋検査が行われているので、本当は安全なのに食べてもらえないことが本当に悔しかった。そんな時父が体を壊し、母が一人では農業を続けることができないと思ひ、私は相馬に移住することを決めました。

去年の7月に相馬に移住し、その時農民連にも入りました。祖父から受け継いだ田んぼを続け、もっとたくさんの人に「福島のお米や野菜は安全で美味しい」ということを知ってもらおうと、日々学びながら作っていきたくと思っています。

よ...と子供をなだめるように話したあと、その言葉の重みを感じてみたく複雑な想いです。でも、マイナスばかりでは生きていく意味がありません。自分なりに今の自分から出来ることや趣味を見付けました。これからは、大熊町の庭に植えたハクモクレンが咲いているときに帰ってみようと思います。



農民連フラッシュ flash

申告納税制を守り、不公平な税制を正そう

3月12日、重税反対全国統一行動白河地方集會が開かれました。新型コロナ禍の影響は中小業者、農家の経営に大きな打撃を与えています。不公平な税制を正し、消費税に頼らない財源の確保が求められています。強権的な税務調査を止めること、所得税法56条の廃止など税制・税務行政の改善を求める要望書を白河税務署長に渡しました。



みんなが生徒、みんなが先生

安達女性部主催のパソコン・スマホ教室が開催されました。税金申告に向けて簿記ソフトを使って記帳をしたい、という会員の声に答えたものです。わからないところを誰に聞いたらいいのかわからず前に進むことができなかったという方が多く、問題が解決できた！これならできる！と、参加して良かったという感想が多く聞かれました。今後も継続的に開催したいと思います。



太陽光発電用地をお貸しいただける方を募集しています。

- ① 約2000~3000㎡の遊休地
- ② 日当たりがよい
- ③ 宅地、雑種地、林地、原野、農地などの地目の土地
- ④ 賃貸条件:100円/坪(年)

ご連絡いただければ、現地を確認させていただきます。



【連絡先】福島農民連産直農業協同組合 担当:佐々木健洋
Tel.024-546-7229 fax 024-546-8804
メールアドレス:stake@vmail.plala.or.jp